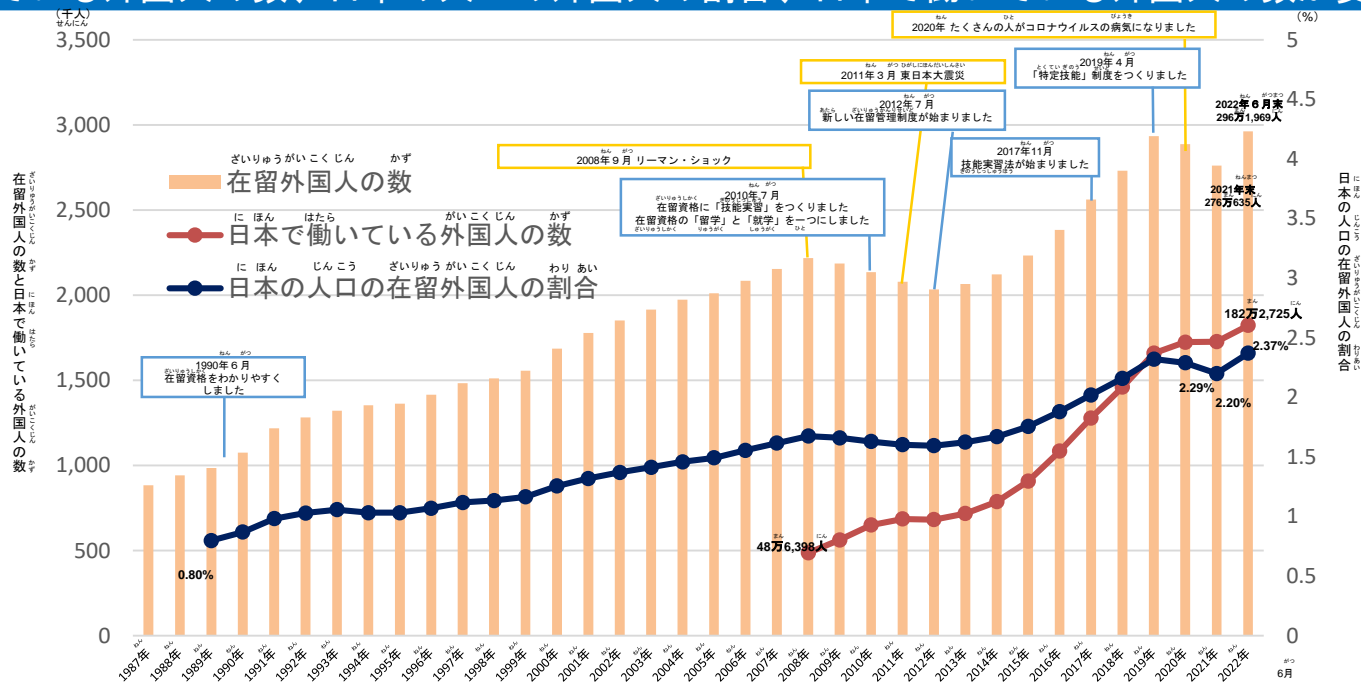
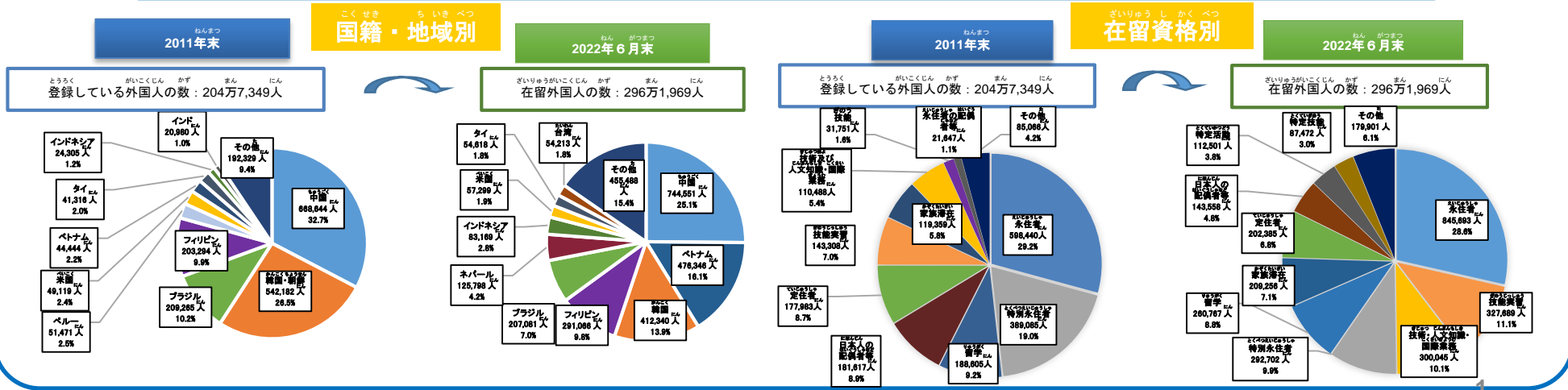


1 基本的な考え (日本に住んでいる外国人の数が変わってきました)

日本に住んでいる外国人の数、日本の人口の外国人の割合、日本で働いている外国人の数が変わってきました



日本に住んでいる外国人の数のほか、生まれた国・地域、在留資格の割合も変わってきました



2-1 基本的な考え（外国人支援コーディネーターを育てたり、専門家として認めたりする制度をつくるのは大切なことです①）

外国人と一緒に生活する社会をどうつくるのか（3つのビジョン＜＝将来、こうなってほしいと考えていること＞）

安全で、安心できる社会

外国人と一緒につくる社会。みんなが、安全で安心して生活できる社会。

いろいろな国の人に住む 元気な社会

国や文化の違う人みんなが社会に参加し、能力をしっかりと出せる、元気な社会。

尊厳と人権を大切にする社会

みんなが尊厳＜＝人が人らしく生きることができる権利＞と人権＜＝人として生まれたときから持っている自由などの権利＞を大切にする。差別や偏見＜＝正しくない情報でだれかのことを悪く言うこと＞のない社会

外国人と一緒に生活する社会を3つのビジョンのようにするために、必要な4つの大切なこと

1 外国人がもっと社会に参加できるように、日本語などを勉強できる機会をつくること。

2 今よりも外国人へもっと情報を伝えたり、外国人がいろいろなことを相談できるようにしたりすること。

3 それぞれの人の生活に合わせて助けること。

4 すべての人が生活しやすい制度をつくること。

2-1 基本的な考え（外国人支援コーディネーターを育てたり、専門家として認めたりする制度をつくるのは大切なことです①）

外国人と一緒に生活する社会をどのようにつくるか (2022年6月14日 外国人材の受入れ・共生に関する関係閣僚会議決定)

（外国人向けサポートをまとめる専門家を育てたり、専門家として認める制度を考えたりします）

- 会社をやめさせられた後でも仕事さがしや生活ができるようにする、できるレベルやできるようになりたいレベルに合わせて日本語を学べるようにするなど、生活で困っている外国人が十分なサポートを受けられるようにする専門家（「外国人総合支援コーディネーター」）を育てるためにどんな研修をするか、研修を終えた人にどこで働いてもらうかなどを考え、決まったら行います。また、サポートの専門家として認める制度を考え、決めます。

外国人に対する総合的な支援をコーディネートする人材の育成・活躍等《4》、《30》、《65》、《86》

5年後の目標	生活で困っている外国人をそれぞれに合ったサポートへ案内できる専門家を育て、その専門家たちにサポートしてほしい外国人がいる場所で働いてもらうことで、外国人をすぐ助けられるようにします。						
簡単な内容	<ul style="list-style-type: none"> 生活で困っている外国人をそれぞれに合ったサポートへ案内できる人「外国人総合支援コーディネーター」を育てるための研修を行い、その人が専門家であることをみんなにお知らせします。 外国人のためのサポートの専門家として認める制度をどうするかを考えて、こうしようと決めます。 						
これからの予定	どんなことをやるか	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	KPI指標
	外国人総合支援コーディネーターを育てるための研修をすること、外国人総合支援コーディネーターとして認める制度をどうするか。	コーディネーターは何をするのか、向いているのはどんな人なのか、といったことについて、詳しい人たちと一緒に考えて答えを出します。	詳しい人たちの意見をもとに、コーディネーター研修で何を勉強してもらうのか、研修を終えた人がいろいろな職場で仕事をするにはどうしたらよいかを考えます。	考えたことをもとに、必要な研修などを行います。			<ul style="list-style-type: none"> 研修を行った回数 研修を終えた人の数 研修を終えた人が仕事をしているかどうか、どんな仕事をしているか（2022年度と2023年度に考えた結果をもとにまた考えます）

3-1 基本的な考え（日本に住んでいる外国人がアンケートに答えた結果など①）

在留外国人に対する基礎調査＜＝日本に住んでいる外国人へのアンケート＞ （2022年2月～3月に出入国在留管理庁が行いました）（※1）

質問	答え（2つ以上ということもあります）	割合
年金＜＝みんなからお金を集めて、年齢の高い人や病気やけがで体などに障害が出た人を助ける決まり。＞の制度について困っていること	制度について簡単なことしかわからない	42.9% (n=7,982) (※1)
介護保険＜＝40歳以上の人からお金を集めて介護が必要となった人を助ける決まり＞の制度について困っていること	制度について簡単なことしかわからない	42.1% (n=2,812) (※2)
市区町村・都道府県・国の役所に相談するとき困ったこと	どこに相談すればよいか分からなかった	31.5% (n=7,538) (※3)
子育てについて困っていること	教育や子育てについての悩みを相談できる場所や人がいない	13.3% (n=1,367) (※4)

* 病気やけがで病院に行ったとき、子どもができたとき、災害が起きたときに「どこに相談すればよいか分からない」と答えた人もいます。

※1 日本に住んでいる18歳以上の外国人（中長期在留者と特別永住者）40,000人にアンケートをお願いした結果、きちんと答えてくれた人は7,982人でした（この下でも同じです。）

※2 ※1で答えてくれた外国人のうち、40歳以上の人の数

※3 ※1で答えてくれた外国人のうち、特別永住者（444人）ではない人の数

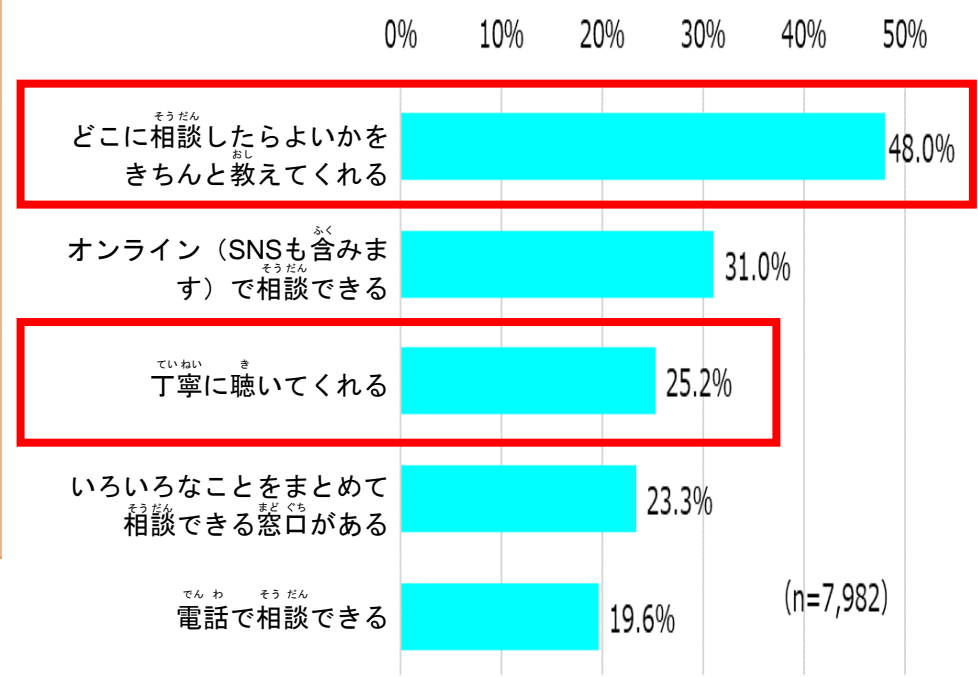
※4 ※1で答えてくれた外国人のうち、自分の子ども（0～6歳）も日本に住んでいる人の数

ざいりゆうがい こくじん たい き そ ちようさ ねん がつ がつ しゆつにゆうこく ざいりゆう かん り ちよう おこな
在留外国人に対する基礎調査（2022年2月～3月に出入国在留管理庁が行いました）

しつ もん 質問	こた え い じよう 答え（2つ以上ということ もあります）
し く ちようそん と どう ふ けん く に 市区町村・都道府県・国の やくしよ そう だん こま 役所に相談するとき困っ たこと	そう だん ないよう あ <u>相談の内容に合わない</u> まど ぐち い なん ど <u>窓口に行くようにと何度</u> <u>も言われた</u> (7.9%)
	そう だん <u>相談したいことについて</u> くわ ひと まど ぐち <u>詳しくない人が窓口</u> <u>になっていた</u> (4.6%)

* と どう ふ けん し く ちようそん やくしよ
都道府県や市区町村の役所からのアンケートについても、まどぐち こま
「窓口で困ったこと
がありますか」という質問に対して、「てつづき
「手続きがわからなかった」「職員がきち
んと説明してくれなかったので、よくわからなかった」とこた え
と答えた人がいました。

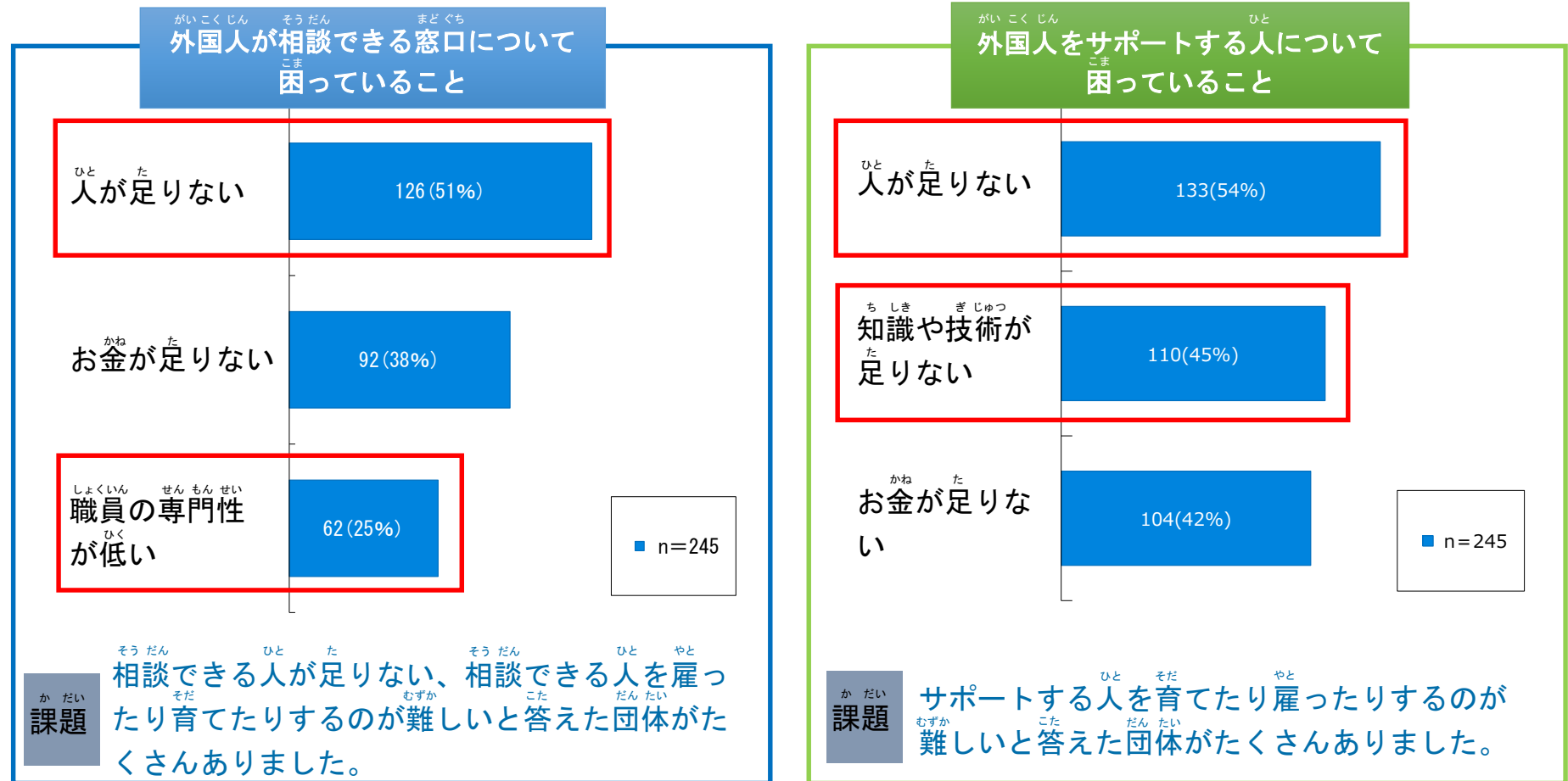
し えん かん のぞ
支援に関して望むこと ※ じようい こうもく
上位5項目



3-2 基本的な考え（日本に住んでいる外国人がアンケートに答えた結果など②）

「地方公共団体における共生施策の取組状況等に関する調査」（2021年7月に出入国在留管理庁が行いました）（※1）

＜=都道府県や市区町村が外国人と一緒に生活するために何をしているのかについてのアンケート＞



*1 都道府県や市区町村についてのアンケートをとったのは308の団体（都道府県:47団体・市区町村:261団体（*2））ですが、そのうち245の団体が答えてくれました。

*2 総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数調査」（2020年1月1日現在）の中から、次のいずれかを選びました。

- ・「外国人住民数上位150団体」
- ・「総人口に占める外国人住民割合上位150団体」
- ・「中核市（人口20万人以上の大きくて力がある市）」

4 基本的な考え（外国人をきちんとサポートするときの問題と、それをどう解決するか）

課題

① 専門家が足りない

- 難しい問題を解決できる専門家が足りない。
- 専門家を育てるための経験や知識がない。
- 働く期間が決められていることが多く、社会や組織での立場も低いため、専門家として育たない。

② 専門家を見つけるのが難しい

- 外国人が困っている難しい問題を解決できる専門家が見つからない。

③ 生活するための情報が足りない

- （日本に来てすぐなど）生活するのに必要な制度や手続、生活で困ったときに相談する窓口などの情報が足りないため、いろいろなことで外国人が困っている。

④ 外国人のサポートに協力してくれる人が足りない

- サポートに協力してくれる人がいないか、いたとしてもどこにいるかがわからない。そのため、外国人が困っていることを解決するためのサポートにつなぐことができない。

どんな方法で解決するか

専門家を育てる研修を行います

専門家として認める制度をつくります

専門家などがそれぞれに合った情報を知らせます

協力してくれる人を専門家が増やします（別のまちの人と一緒にすることもあります）

外国人と一緒に生活する社会をつくるために、外国人支援コーディネーターにいろいろなところで働いてもらうことも含めて、どうしたらよいかを2023年度以降に考えます

左に書いてあることを行うために、外国人支援コーディネーターを育てたり、専門家として認めたりする制度をつくる必要があります

5 基本的な考え（外国人支援コーディネーターに向いているのはどんな人か）

日本の法律や制度など（*1）のほか、外国人が受けることができるサポートについても詳しく知っており、相談を受けて上手にサポートする技術をもっていて、次の①と②に書いてある仕事ができる人のことです（*2）。

（*1）「など」とありますが、これには外国の制度も入ります。

（*2）外国人支援コーディネーターには、国・都道府県・市区町村の役所や外国人の受入れ機関で働いてもらうことを考えています。

- ① 難しい問題が起きて困っている外国人に信頼してもらい、相談相手になります。それから、どのような相談内容なのかをよく理解し、問題を解決する計画を立てたり、状況に合ったアドバイスをしたり、サポートを手伝ってくれる相手と連絡を取ったりします。外国人が納得するのを確認しながら問題を解決していきます。相談を受けている人がほかにいるときは、難しい問題を解決するために必要なことを教えたり、アドバイスをしたりします。
- ② 外国人が生活するうえで困ったことが起きないようにするほか、困ったことが起きたらすぐ相談できるようにします。そのために、次のことをします。
 - ・生活オリエンテーション（生活に必要な手続、連絡するところなどを外国人に知らせること）などに参加すること。
 - ・これから生活オリエンテーションを行う人にアドバイスしたり、必要なことを教えたりすることで、日本の制度などがどうなっているか、相談をした外国人が生まれ育った国の制度とどのように違うかを説明したり、困ったときの相談窓口の情報を知らせたりすること。

6-1 外国人支援コーディネーターの役割

やる必要があること

やってほしいこと

外国人から相談を受けた人を
サポートする

外国人が生活で困らないように、
サポートする

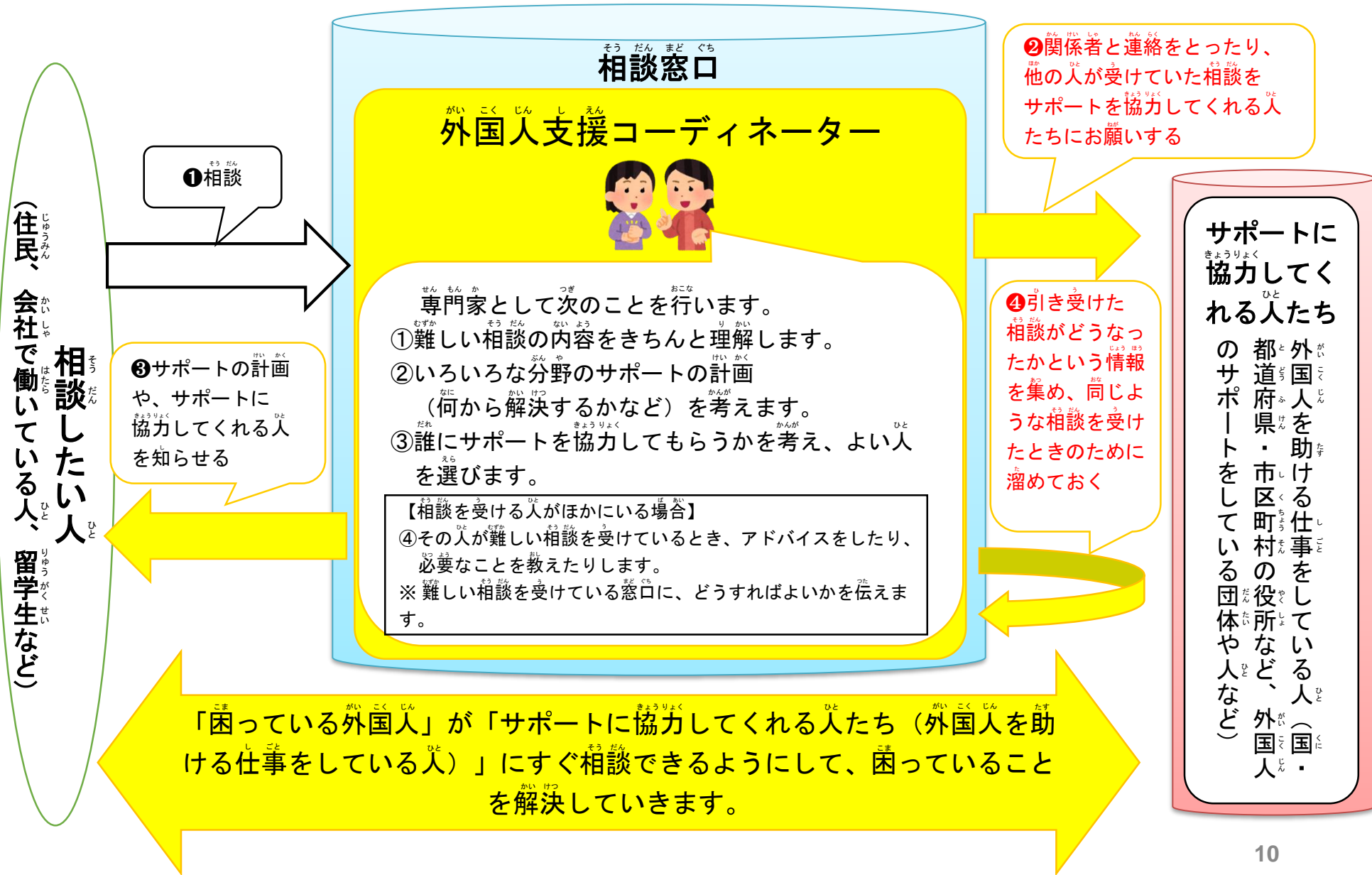
サポートを協力してくれる人とサポートしてほしい外国人をつなぐために

外国人支援コーディネーターとサポートに協力してくれる人がそれぞれの仕事について勉強する
どんな相談が多いかによって、サポートに協力してくれる人を増やす

外国人ひとりひとりをサポートして分かった問題※を知らせるなどして、
外国人に安心して来てもらうことができるようにすること。

※ 近くの外国人が困っていること、サポートを協力してくれる人が足りないことなど

6-2 外国人支援コーディネーターの役割 (外国人から相談を受けた人をサポートする)



6-3 外国人支援コーディネーターの役割（外国人が困らないように、サポートする）

ただ じょうほう つた がい こく じん こま
正しい情報を伝えて、外国人が困らないようにサポートします

つぎ だけ じょうほう つた
次のところで正しい情報を伝えます。

①コーディネーターの職場

②コーディネーターが参加する会社や自治体などの団体※が行う外国人のために開く説明会やイベント ※ そのような団体から頼まれたとき、

専門家として参加したりアドバイス 外国人支援コーディネーター
をしたりします。

◆ 生活についての基本的な決まりを動画やガイドブックで説明する（外国人ひとりひとりに合うプランを教えることも入ります。）



説明する人

◆ 困ったときに相談する窓口などを紹介する（サポートを協力する団体や、外国人支援コーディネーターが活動しているその場所にある支援ネットワークを頼ることができます。）



自分で参加・説明します

外国人支援
コーディネーター

アドバイスなど

説明する人
など

そう だん まど ぐち
相談窓口

がい こく じん し えん
外国人支援
コーディネーター

専門家として
情報を知らせ
ます

外国人（会社に新しく入った人、
学校に新しく入った人、別のまち
から引っ越してきた人、イベント
に参加する人など）

- ・ 日本の制度を簡単に教えたり、外国人が生まれた国の制度と日本の制度がどのように違うのかを教えたりすることで、外国人が困らないようにします
- ・ 相談窓口などを知らせることで、外国人が困ったときにすぐ相談できるようにします

7 外国人支援コーディネーターができればならないこと（4つの「できる」）

外国人の在留状況≒日本でどのような許可を受け、どのような生活をしているのかなどを正しく理解できる
⇒ 「入管関係法令」など

外国の文化や考えを理解できる
⇒ 「異文化理解」など

外国人からの難しい相談をうまく解決できる

- ① 相談してきた外国人から信頼してもらい、その外国人が困っている難しい問題がどんなものなのかを理解する
- ② どのように問題が起きているのか、問題を解決するにはどうしたら良いかを理解する
- ③ いろいろな見方から、問題を解決する計画を立て、状況に合わせた提案をしたり、問題の解決を協力してくれる人たちと連絡をとる

困っている外国人がサポートをすぐに受けることができるようにする

- ① 「国の機関等の設置目的、根拠（法令）及び役割」及び「外国人の生活・就労に関する日本の法令・制度及び外国の類似制度」
- ② 「関係機関≒外国人を助ける仕事をしている人や団体」との関係構築≒いつでも連絡ができるようにすること及び連携に関する技術」

8 外国人支援コーディネーターを育てるためにすること

養成課程①
(オンラインで受けてもらいます)

- 基本的な知識や技術について先生の話聞く。(64時間) オンデマンド
- 確認テスト(合格した人には、「実践」で使う問題を用意します)

(2か月間)

実践
(実際にやってもらいます)

- 「養成課程①」で覚えた基本的な知識と技術を使って問題をどのように解決するのか考えます。(注) (研修を受けている人の職場で行います。)

(注) 「養成課程①」で用意された問題を行います。

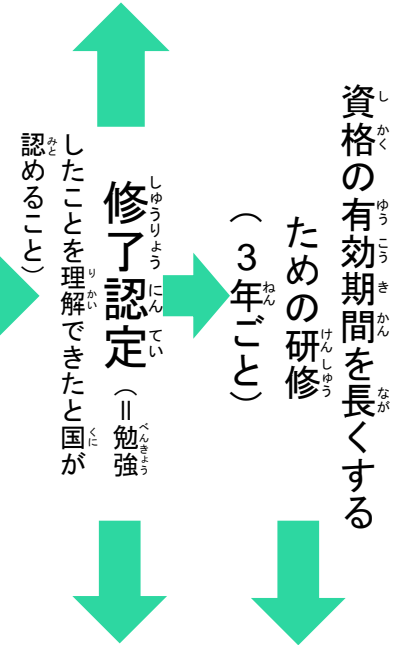
(3か月間)

養成課程②
(集まって受けてもらいます)

- こんなことが起きたらどうするかを考えます(何人かで話し合うこともあります。)
- 修了認定テスト(勉強したことが理解できたかどうかを確かめます)

(2日間)

修了認定した後に仕事をした期間が3年以上になる人には、先生になる研修を用意することを考えます。



○ 研修を受けてもらう人: 300人 (2026年度まで)

9 2023年度以降にやること

研修を終えた人が情報を共有するためのサポートなど

- 研修を終えた人のためのポータルサイトをつくって使えるようにする
- 研修を終えた人たちが事例研究会<=こんなときはどうするかを考えたり学んだりする集まり>を開く

外国人支援コーディネーターの評価と待遇が良くなること<=給料や休みが増え、立派な仕事と認めてもらうなど>を目指す
コーディネーターが良い評価や待遇を受けるための方法を考えます。

外国人支援コーディネーターをいろいろな所で働いてもらう方法を考える

職場になりそうな場所をひとまず決めて、コーディネーターがいろいろな所で仕事をしてもらう方法を考えます。

専門的な知識を持った人を認める制度をどうするかを考える

研修を終えた人たちがどこでどのように活動しているか、ほかの国家資格制度<=その人に、専門的な知識や技術があることを国が認めること>がどのように使われているかを調べ、外国人支援コーディネーターを国家資格にすることを考えます。

外国人ひとりひとりをサポートして分かった問題（外国人のサポートに協力してくれる人が少ないことなど）を役所に知らせて、外国人に安心して来てもらうことができるようにすること。

外国人のサポートに協力してくれる人が少ないことを役所に知らせて、外国人に安心して来てもらうことができるようにする

10 参考（関係者からいろいろな意見を聞きました。）

外国人向けサポートのまとめ役となる専門家にやってもらうことなどを考えるため、いろいろな関係者から意見を聞きました。

	き と ひ 聞き取った日	き と あいて 聞き取った相手		き と ひ 聞き取った日	き と あいて 聞き取った相手
1	ねん がつ にち か 2022年11月15日（火）	はままつ し き かくちようせいぶ こくさいか ・浜松市企画調整部国際課 こうきざいだん ほうじん はままつ こくさいこうりゆうきょうかい ・公益財団法人浜松国際交流協会	11	ねん がつ にち すい 2023年1月25日（水）	いっぽんしゃだんほうじん ざいにち きようさいかい やまもと みか し 一般社団法人在日ベトナム共済会 山本 美香 氏
2	ねん がつ にち もく 2022年11月17日（木）	こうきざいだん ほうじん とちぎ けんこくさいこうりゆうきょうかい 公益財団法人栃木県国際交流協会	12	ねん がつ にち もく 2023年1月26日（木）	ほうじ じん たげんご けん む こ がわ じよしだいがく よしあみ しづよ し NPO法人多言語センターFACIL 兼 武庫川女子大学 吉富 志津代 氏
3	ねん がつ にち もく 2022年11月17日（木）	あい ち けんけん みんぶんかきよくけんみんせいかつぶ しゃかいかつどうすいしんか たぶんかきようせいすいしんしつ ・愛知県県民文化局県民生活部社会活動推進課多文化共生推進室 こうきざいだん ほうじん あい ち けんこくさいこうりゆうきょうかい ・公益財団法人愛知県国際交流協会	13	ねん がつ にち げつ 2023年1月30日（月）	いっぽんざいだんほうじん じちたい こくさいか きょうかい 一般財団法人自治体国際化協会（CLAIR）
4	ねん がつ にち か 2022年11月22日（火）	ぐん せい けんおおいずみちようき かくぶ たぶんか きようどうか 群馬県大泉町企画部多文化協働課	14	ねん がつ にち げつ 2023年1月30日（月）	こくさいい じゅうきかん 国際移住機関（IOM）
5	ねん がつ にち か 2022年11月22日（火）	こうきざいだん ほうじん せんだい かんこう こくさいきょうかい 公益財団法人仙台観光国際協会	15	ねん がつ にち か 2023年2月7日（火）	に ほん ぎょうせいしよ し かい れんごうかい 日本行政書士会連合会
6	ねん がつ にち きん 2022年12月16日（金）	よこはまし こくさいきよくこくさいせいさくぶ せい さく せう む かく ・横浜市国際局国際政策部政策総務課 こうきざいだん ほうじん よこはま けんこくさいこうりゆうきょうかい ・公益財団法人横浜市国際交流協会	16	ねん がつ にち もく 2023年2月9日（木）	に ほん しょうこうかいざいしよ 日本商工会議所
7	ねん がつ にち すい 2022年12月21日（水）	む かしだいがく 武蔵大学 アンジェロ・イシ 氏	17	ねん がつ にち きん 2023年2月17日（金）	に ほん べんご し れんごうかい 日本弁護士連合会
8	ねん がつ にち もく 2022年12月22日（木）	いっぽんしゃだんほうじん たぶんか しゃかいけんもんしんしよくきこう きくち あまよし し 一般社団法人多文化社会専門職機構 菊池 哲佳 氏	18	ねん がつ にち げつ 2023年2月20日（月）	に ほん ぎょういんき かん だんたい れんらくきょうかい 日本語教育機関団体連絡協議会
9	ねん がつ にち きん 2022年12月23日（金）	やまうら いこ し 山浦 育子 氏	19	ねん がつ にち か 2023年2月21日（火）	いっぽんしゃだんほうじん に ほん けいざいだんたいれんごうかい 一般社団法人日本経済団体連合会
10	ねん がつ にち げつ 2022年12月26日（月）	か ね がわ けんきょういんかい いんかい こ きょういんく し えんか 神奈川県教育委員会子ども教育支援課	20	ねん がつ にち すい 2023年2月22日（水）	こうきざいだん ほうじん に ほん しゃかいふくし し かい 公益社団法人日本社会福祉士会